

- 公園・緑地等の住民による管理のあり方について 進行：高橋 進（部会委員）
 - ・ 地域住民主体の公園のリニューアルを図るべき。公園再生の会などができ、会員が集まればコミュニティも活性化する。
 - ・ 大きい公園は、いくつかに分けて複数の公園愛護協力を認めてほしい。
 - ・ 公園愛護協会を知らない人も多い。協会のない小さい公園から順にステップを踏んで取り組んでいったらどうか。
- 美しくゆとりあるまちなみを守り、育て、次世代へ継承する 進行：岩倉 紘一（部会委員）
 - ・ 洛西ニュータウンは、ゆとりある素晴らしい街であり、環境・景観が私たちの財産である。景観のルール、地区計画等でまちなみを守ることに、住民で議論・検討を始めることが必要。
 - ・ 高齢になると5階まで階段を上り下りするのがつらい。エレベーターが設置できないかとの声が多い。

安心安全・子ども育成部会 進行：香水 義三（部会委員）

- 子どもを地域で育てる
 - ・ 保育所、児童館、子育てサロン等で生の声、ニーズを集め、洛西らしい「地域の子育て」を考え、そのうえで地域の子育て支援の適任者を広報や口コミでどんどん集めたらよいと思う。
 - ・ 保育園、幼稚園の一般開園日を拡げたり、子育てサロンの充実や保育所の時間延長を望む。
 - ・ 洛西ニュータウンは公園も多く子育ての環境はよいが、遊んでいる子どもを見かけないのでさびしい。
 - ・ 今の子どもは友達が遊びに来てもなかなか仲間になれない。また、親同士のつながりも希薄である。
 - ・ 「プレイパーク」や植物探検隊などの「地域クラブ」づくりを通じて、多様な関係が成立していくのではないかな。
 - ・ RCVでの子育て関係情報の放映時間を若い親たちが見る時間帯に合わせる取組が有効ではないか。
 - ・ 子どもの意見を聞くことも必要。



コミュニティ部会 進行：西村 繁雄（部会委員）

- 住みよいまちを目指して～住民どうしが支えあうまちづくり～
 - ・ 洛西ニュータウンに転入してきたが、近所との付き合いがなく、出会いの場を確保したい。
 - ・ 地域における多くのスポーツクラブ活動などを周知する方法が必要である。
 - ・ 一人暮らしのお年寄りや認知症の人も住みやすいまちにしたい。
 - ・ 災害時に備えて、住民が互いに交流し知り合うことが大切。青空市場などを利用して住民のつながりを広げてはどうか。
 - ・ 人の集まる場を各サブセンターにも設けることが必要。
 - ・ コミュニティ活性化のために、活動のきっかけをいかに作るか、いろいろと情報を集めたい。
 - ・ 洛西ニュータウンには、文化的施設が不足している。周辺大学との連携も必要である。



生活機能向上部会 進行：外村 至（部会委員）

- 豊かな生活環境の利便性を促進する～バス運行ルートについて～
 - ・ JR新駅のオープンにあわせ、バス経路が住民により利便性の高いものにすることが必要。
 - ・ 買い物や通院に便利なコミュニティバスについて検討すべき。
 - ・ 特西3系統はニュータウン内を広くカバーしており、昼間にも運行すれば便利である。
 - ・ 昼間が増えると朝夕が減便になるかもしれない。通勤通学にとっては、朝夕の本数は現在のままにしてほしい。
 - ・ ニュータウン南部から桂坂に行くバスがほしい。
 - ・ 一日乗車券がニュータウンでも利用できればありがたい。
 - ・ 洛西地域は民営バスが先行して営業しているエリアであり、民営事業を圧迫することは困難な面がある。また洛西は片道輸送という特色があり、なかなか採算を取るのが難しいのが現状である。
 - ・ 高齢化が進む中、乗り換えなしで各サブセンターをはじめ主要施設を回る循環バスを検討すべき。ただし、採算面も考慮した住民調査も必要と思う。



※ 皆さんからいただいたご意見等につきましては、主なものを掲載しておりますので、ご了承ください。